

2024年10月吉日

プレスリリース

銀座 久兵衛 美食の会

魯山人の旧居「春風萬里莊」にて、魯山人所縁の名店の鮓を食す

2023年秋、唯一現存する北大路魯山人の旧居「春風萬里莊」にて銀座 久兵衛による「美食の会」を催し、全国の皆様にご参加をいただきました。好評につきこの秋も、ワールド航空サービスの手配により、久兵衛主人今田洋介氏にご講演を願い、お鮓を味わっていただく機会を設けました。1935年に今田壽治氏が創業した「久兵衛」は、軍艦巻きを考案して脚光を浴び、1951年には魯山人と出会って白身魚に柑橘類を絞るなど江戸前鮓に新しい手法を取り入れるなどし、政財界を含め著名人に愛される名店として知られております。



春風萬里莊



久兵衛の鮓(イメージ)

食後は笠間日動美術館にて企画展「フォーヴ・ショック フランス そして日本へ」を館長の長谷川徳七の講演付きで鑑賞します。また常設の「フランス館」では、印象派のモネやルノワール、エコール・ド・パリのシャガールやユトリロ、アメリカンポップアートのウォーホルらの作品を副館長の長谷川智恵子の案内でご覧いただけます。「日本館」の著名洋画家のパレットコレクションも見所です。以下に詳細をご案内しますので、ご取材等を賜りますようお願い申し上げます。

記

実施日 2024年10月21日(月)、11月5日(火) 休館日貸切/参加人数 各日20名まで
開催地 笠間日動美術館分館 春風萬里莊 茨城県笠間市下市毛1371-1
旅程 11:00 春風萬里莊 到着
11:15 銀座「久兵衛」主人 今田洋介氏 講演(約30分)
11:50 美食の会開始(約1時間30分)
13:20 春風萬里莊出発 → 13:30 笠間日動美術館到着
13:45 当館館長 長谷川徳七による講演会 (約30分・企画展示館)
14:40 常設館にて同副館長 長谷川智恵子によるギャラリートーク、その後自由観覧
15:30 笠間日動美術館出発

旅行会社 ワールド航空サービス ツアー掲載のアドレス <https://www.wastours.jp/tour/japan/379276/>

ご取材のお問合せ (公財)日動美術財団 学芸部 金澤敦子 kanazawa@nichido-garo.co.jp

日動画廊 東京都中央区銀座 5-3-16 TEL 03-3571-2553

分館 春風萬里荘 笠間市下市毛1371-1 TEL 0296-72-0958

茅葺き入母屋造りの重厚な構えの江戸時代中期の民家、春風萬里荘は、もともとは高座郡御所見村(現:神奈川県厚木市近郊)の豪族で大庄屋の伊東家の母屋でありました。これを昭和の初めに北大路魯山人が北鎌倉・山崎の地にひらいた星岡窯の母屋として、もう一軒の慶雲閣とともに移築したものです。魯山人の没後から6年を経た昭和40(1965)年、笠間日動美術館の創設者長谷川仁が北鎌倉より移築し、昭和47(1972)年より笠間日動美術館の分館として公開しています。

北大路魯山人は明治16(1883)年に京都に生まれ、書家として世に出た後、篆刻、絵画、陶芸、漆工芸などの多方面にその才を発揮し、昭和34(1959)年に76歳で亡くなりました。春風萬里荘の建物内部は「万能の異才」とうたわれ、万事に凝り性であった魯山人の才が随所に見られ、往時の暮らしぶりを偲ばせます。

三和土の土間の左手にある馬屋を改装した洋間では、樺の木目が美しい「木レンガ」を敷きつめた床や自然石そのままを組み上げた暖炉、自作の陶製「アサガオ」(男性用小便器)を見ることができます。風呂場は、脱衣所を含めると十畳程の大きさで、長州風呂と洗い場があり、壁には魯山人自作の青竹を模した半円筒形の織部陶板がめぐり、棕櫚縄でしめられた絵付けがなされています。茶室「夢境庵」は、千宗旦(千利休の孫)によってつくられた裏千家の名茶室「又隠」を手本に魯山人が設計したもので、本席床柱には黒柿の自然木が用いられています。

庭園は年々手が加えられ桜、紅葉の名所として人々に親しまれています。



笠間日動美術館 茨城県笠間市笠間978-4 TEL 0296-72-2160

沿革

1972年(昭和47)年、日動画廊を創業者の長谷川仁・林子によって、笠間市佐白山城址公園の西麓の、長谷川家累代の邸跡に開設されました。長谷川家初代の宗民は1734年に生まれ、長崎で外科医学を学んだ後江戸で修行し、1778年にこの地に移り藩公の御殿医となった人物。当館創立者の仁は宗民から数えて6代目にあたります。7代目となる現館長の長谷川徳七は企画展示館、フランス館、日本館、野外彫刻庭園など施設の充実をはかるとともに作品の収集につとめています。

コレクション

洋画家の愛用したパレット、自画像から開始したコレクションは、印象派からエコール・ド・パリの作品、洋画や彫刻、また北大路魯山人の陶磁器など工芸を含め、現在3000点余りを数えます。画商の眼が選んだ作品は質の高さで国内外に知られています。

開催中の展覧会「フォーヴ・ショック フランス そして日本へ」

フォーヴィスム(野獣派)を起点に、半世紀にわたるフランスと日本の美術界の軌跡をたどります。

以上